

学校名	早島町立早島小学校	学校長名	伊月 義治	事業名	0	0	0	0
-----	-----------	------	-------	-----	---	---	---	---

調査結果の概要

科目	学力調査結果															
	国語A			国語B			算数A			算数B			理科			
	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差	
貴校(本年度)	69.7	10.0	2.5	68.3	7.0	2.1	77.9	14.0	3.4	45.4	6.0	3.1	63.1	15.0	5.1	
貴校(前年度・前回)	69.8	11.0	3.1	53.2	6.0	2.1	78.3	14.0	3.2	58.7	8.0	3.0	61.4	/	4.8	
岡山県(公立)	69.2	10.0	2.8	64.5	6.0	2.4	75.2	13.0	3.4	44.8	6.0	3.0	59.9	15.0	5.1	
全国(公立)	70.0	10.0	2.8	65.4	6.0	2.4	75.2	13.0	3.4	45.0	6.0	3.0	60.8	15.0	5.0	
全国(前回)	72.9			55.5			78.1			58.2			60.9			
差	対県平均		対全国平均		対県平均		対全国平均		対県平均		対全国平均		対県平均		対全国平均	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
	0.5	-0.3	-3.1	3.8	2.9	-2.3	2.7	2.7	0.2	0.6	0.4	0.5	3.2	2.3	0.5	0.5

児童生徒質問紙調査結果									
「H27肯定率」が全国より高かった質問		H27肯定率	順位		全国との差				
(62)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	100	5.2	73	-30.0	▼	30.0		
		校内児童数							
		校内割合							
		県割合							
		全国割合							
(43)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	111	6.9	80					
		校内児童数							
		校内割合							
		県割合							
		全国割合							
「H27肯定率」が全国より低かった質問		H27肯定率	順位		全国との差				
(16)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	27	-14.8	1		▼	30.0		
		校内児童数							
		校内割合							
		県割合							
		全国割合							
(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか	51	-11.2	2		▼			
		校内児童数							
		校内割合							
		県割合							
		全国割合							

学力・学習状況調査改善プラン

昨年度の取組とその成果
<p>1. 学習規律の徹底と習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業ははじめと終わりのあいさつをする。 学習形態のスタンダード化を図る。めあて→まとめ→振り返り <p>2. 校内環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃指導を徹底する。 校内言語環境を整え、言語活動を充実させる。 <p>3. 学習指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習進度に合わせた学習活動ができるようにブリドリルを活用する。 対話をもとにした学び合いが生まれる学習指導の工夫を図る。 記述式の問題に臆することがないよう、図やグラフを活用する経験や場を学習活動の中に設定する。

本校の課題
<p>●国語Aでは、学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む、正しく書くについては復習の成果が見られる。話し合い時の聞き方についても同様。しかし、引用および事例を挙げた文章の理解と書き方、さらに文の主語の捉え方については理解がかなり不十分。</p> <p>●国語Bでは、目的に応じ、中心となる語や文を捉えて書き抜く、文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くの2設問がかなり全国平均と比べても低い。全体として目的に合った文章を書く力が不十分である。</p> <p>●算数Aでは、おおむね全国平均を上回っているが、1度は理解していたことを忘れて、やり方をマスターしきれない児童が多い。図形を使った問題および分度器・ものさし・コンパス等の道具を正しく使った、量と測定に関わる問題に課題がある。</p> <p>●算数Bでは、割合の理解度がかなり低い。単位量当たりの大きさを求めている、代金を求める問題、示された情報から基準量を求める問題等。また概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、理由を記述する問題も8割の児童ができていない。</p> <p>●理科では、顕微鏡・メスシリンダー等の実験器具の操作方法が正しく理解できていない。試行した結果や測定結果を表したグラフを基に、自分の考えをまとめたり考察したりすることを苦手とする児童が多い。</p> <p>●質問紙からは、テレビは抑制しているが携帯・スマホ・インターネットの使用が多いこと。学習塾での学習時間は多いが、家庭での学習時間が少ないこと。自主的かつ計画的な家庭学習が進んでいない児童が多いこと(予習・復習も含む)。学校に行くのが楽しいは46.6%(全国53.3%県58.5%)で全国平均に比べて低位であること。地域行事への参加33.9%(全国36.9%県38.9%)、自然観察をした経験も少ない。</p>

課題解決に向けた今後の取組
<p><すぐに取り組む内容></p> <p>① 朝読書を推進し、校内読書を定着させ、引き続き家庭でも本に親しむことができるようにする。</p> <p>② 教育課程編成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝学習の充実…語彙プリントや国語学習たしかめプリントを活用して、内容配列を工夫し、既習事項の反復練習に力点を置く。 基礎的基本的な知識・技能の定着…授業内容の振り返りを随時行い、学習到達度テストの活用によって、児童のつまずきをきめ細かく把握し、個に応じた指導を行う。 <p>③ 指導力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力テスト過去問題をピックアップし、誤答分析と指導のポイントを話し合い、学習内容との系統性を共有し、授業に生かす。

<p><中・長期的に取り組む内容></p> <p>① 学習到達度テストの活用によって基礎学力の定着度を確認する。さらに活用問題にも取り組ませ、説明する力を付ける。</p> <p>② 授業改善・授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開授業を全員が行う校内研修の実施…国語と算数の6年間の指導内容の系統を把握し、外部講師と指導主事による指導・助言で授業改善を図る。 「岡山型学習スタンダード」の積極的活用と発達段階に応じた指導法の連続性を図る。 国語・算数の授業の中に「春チャレンジ」「夏チャレンジ」を取り扱い、活用型問題に取り組ませる。 <p>③ 家庭学習の取組の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引きの作成・配布…家庭学習の方法・内容を自分自身で振り返る機会を増やしたり、家庭に呼びかけたりする。 自主学習への取組(宿題の内容の見直し)…望ましい自主学習内容等を指導したり、好事例を紹介するなどして、取組を活性化させる。
--

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
<p>・小中が連携し学習指導のスタンダード化に取り組み、連続性のある学びになるようにする。特に学習のめあての提示、まとめと振り返りの学習活動の重視により、児童が学習中にすべきことと指導者側との意識のずれを解消していきたい。本校では読解力を高める読書指導と学習活動における考察時間の確保に課題があるので、児童が学習を最後まで楽しんで追求する授業改善の工夫をする必要がある。</p>	<p>・家庭学習が充実し、特に学習内容の復習が習慣化してできるように、家庭学習の手引きを提示し保護者へ周知する。また宿題を全児童が済ませ、学習への構えが丁寧になされるように家庭連絡を密にし学級懇談等で啓蒙する。さらに、依然として多くの児童が1時間を越えて使用している携帯・スマホ・ゲーム等の正しい扱いと計画的な使用を求めている。</p>

具体的目標						
何を	どこまで	いつまでに	どのような方法で	達成状況(12月末現在)		次年度への改善点
				説明及び課題	達成度	
・基礎学力補充	対象児童に実施し、正答率を1割増	単元終了2ヶ月後まで	・朝学習で週2回まで ・復習プリントや学習たしかめシート活用 ・下学年の既習内容を振り返る指導			
・活用型問題	児童に実施し、正答率を1割増、無回答率1割減	単元終了後すぐに	・到達度テストやトライシートの活用 ・活用型問題の教材研究と開発 ・机間指導の充実、ノート指導の徹底			
・指導力アップ	スキルアップのため校内研修を月1回もつ。	年度末まで 随時ショートタイムで	・学力テスト過去問題をピックアップし、指導のポイントを分析し、共有する。			

※ 達成度…「S: 目標を大きく上回った(100%超)」「A: 目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B: 目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C: 目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D: 目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E: 目標を達成できなかった(30%未満)」